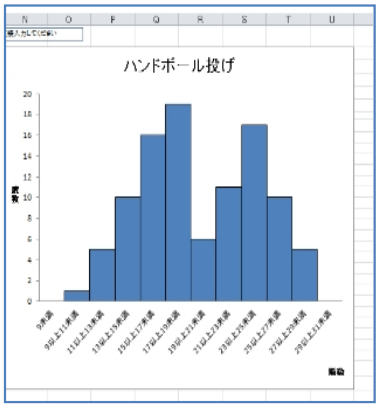
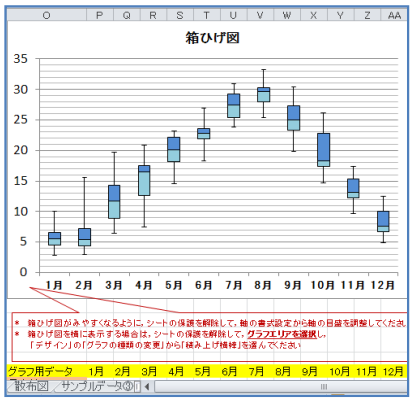
A13 データを活用し統計的な判断力を伸長させる 中学校・高等学校数学科授業づくり講座

講　座　の　目　的	対象と定員
中学校・高等学校の系統性を重視し、資料を活用し統計的な思考プロセス、判断力を伸長させる授業づくりと、コンピュータを活用した指導法の研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	12名 （中・高12名・特支）

期　　日	研　修　内　容
平成31年10月31日（木）～11月1日（金）	○小中高における統計分野の学習内容について ○統計的探究プロセス（PPDACサイクル）を重視した授業構想の在り方について ○ICTを活用した授業づくり ○模擬授業　等

担当者からのメッセージ

データを収集し、分析し、その傾向を踏まえて課題解決したり意思決定したりするための資質・能力を育成するため、数学科では統計的な内容の改善充実が図られています。このような中、統計的探求プロセスを意識し、ICTを有効に活用した授業づくりの研究に一緒に取り組みましょう。

実践女子大学教授・日本統計学会統計教育委員会委員長の竹内光悦先生から、次期学習指導要領へむけた統計教育と指導法について、分かりやすく解説していただきます。

受講者の感想から
・今後の授業づくりの中で生徒にどう考察させどんな力を身に付けさせるか常に意識しながら統計のよさを伝えていきたい。
・資料に詳しくまとめられていて後日改めて勉強する際に助かります。